

### <特別活動における活用のポイント>

- ・すべての児童生徒が意思決定に参加する機会を設け、学校内の様々な活動や諸問題について「自分ごと」として捉えるためにタブレットを活用する。
- ・全校の意見を広く吸い上げ、なるべく多くの児童生徒が納得できるような合意形成を図るためのツールとして活用する。

#### 事例1 生活習慣チェックでの活用 (★)

使う機能：アンケートフォーム

学級活動や委員会活動で、アンケートフォームを使った生活習慣の振り返り等の活用を想定

- ①持ち帰ったタブレットに就寝時刻や学習時間等を入力
- ②1週間などの期限を設け、各自、自宅で生活習慣の記録を入力
- ③入力期間終了後、クラスや学年ごとに集計し、自分たちの生活習慣を振り返り、問題点や改善点について話し合う。

〇〇中学校 (△△委員会) 生活習慣チェック (例)

タブレットでの課題が終わったら、今日の生活習慣のチェックと振り返りを入力しましょう。

\* 必須

1. あなたの学年を選びましょう。 \*

1年

2年

3年

2. あなたのクラスを選びましょう。 \*

1組

2組

3組

#### 入力項目例

- ・学年、クラス、出席番号
- ・起床時刻、就寝時刻
- ・学習時間
- ・タブレット使用時間
- ・動画視聴時間
- ・ゲームをした時間 など

#### 効果的ポイント

- ・全体の結果と自分の結果を比較することで、自分自身の生活習慣の振り返りにつなげることができる。
- ・各クラスで目標を設定（動画視聴時間〇分以下など）すると、仲間と達成しようとする絆づくりにもつながる。

#### 事例2 目安箱の代替として、各委員会活動や児童会・生徒会執行部への意見や提案をするためのツールとしての活用 (★)

使う機能：アンケートフォーム

学校生活をよくすることを目的に、児童生徒の意見を広く吸い上げるための「目安箱」の代替として活用（事前に『全員のことを考えた建設的な意見や提案であること』を児童生徒に伝えておく）

- ①年度初めや後期への切り替わりの時期に、1週間程度回答期間を設ける。
- ②児童生徒は、休み時間やタブレットを持ち帰った際に、各委員会活動や児童会・生徒会執行部への意見や提案を入力

〇〇小学校 「みんな笑顔大作戦」意見ボックス

みんなが笑顔（えがお）になるためのアイデアを募集（ぼしゅう）しています。

\* 必須

1. あなたの学年をえらんでください。 \*

1ねん

2ねん

3年

4年

5年

6年

2. あなたが意見（いけん）をいいたい委員会（いいんかい）をえらんでください。 \*

答えの選択

生活委員会（せいかついいんかい）

体育委員会（たいいくいいんかい）

3. 給食委員会（きゆうしょくいいんかい）

保健委員会（ほけんいいんかい）

清掃委員会（せいそういいんかい）

放送委員会（ほうそういいんかい）

ボランティア委員会（ぼらんていあいんかい）

4. みんなが笑顔（えがお）になるためのアイデア \*

回答を入力してください

アンケートフォームの例

#### 効果的ポイント

- ・人前ではなかなか意見を言えない児童生徒も、タブレットを通してなら積極的に意見を書きこんだり提案したりできる。
- ・中学校における「校則改正」等の議論にも活用可能